



2 団 だ よ り

発行責任者：団委員長 池澤 榮次郎

団本部：鶴林寺 宝生院内 (団 HP 「ボーイスカウト加古川第2団」検索)

— スカウトの「ちかい」 —

団委員長 池澤 榮次郎

ボーイスカウトになるとき、隊旗をにぎり「ちかい」を立てます。

「ちかい」の言葉は

「私は名誉にかけてつぎの三条の実行を誓います。

一、仏（神）と国とに誠をつくしおきてを守ります。

一、いつも他の人々を助けます。

一、体を強くし、心を健やかに徳を養います。」です。

私は名誉にかけて・・・の意味は、「私は」は自分の意志で行うと言うこと、「名誉にかけて」の名誉とは、人に信頼されるということであり、「私は信頼されるスカウト（人）になるために、つぎの三条をちかい実行します」ということです。

「一、仏（神）と国とに誠をつくしおきてを守ります。」とは、

仏（神）、国にちかいを立てることはスカウトの義務とされていて、

「誠を尽くす」とはなに事にも誠心誠意、真剣に取り組みますということ

「一つ、いつも他の人々を助けます。」とは、自分以外の他の人々に対して奉仕する気持ちを持ち、他を幸福にすることは自分も幸福になれるということ。

「一、体を強くし、心を健やかに徳を養います。」とは、健全な身体と精神はとても大切でありいつも鍛えておくこと。他の人たちの幸福をも考え、自然などにも感謝する心を持つ人となれるよう鍛錬するということ。

スカウトは、この「ちかい」をいつも忘れることなく、実行していくことが大切です。



ボーイスカウト 創始者
ベーデン・パウエル卿

— 各隊 10月の活動・トピックス —

○ ビーバースカウト隊 「ビーバーまつり」

10月23日にはりま地区ビーバーまつりが日岡山公で開催されました。参加者は140名ほどで、私達の団からはビーバーのほか保護者・家族を含め26名が参加しました。

2団の指導者もゲーム指導を行い、ビーバーたちは他団のビーバーたちとミックsteamを作り9種類ほどのゲームに挑戦、互いに交流を深めて新しい友達も作ることができました。



「さー、ゲームが始まるよ・・・。」

○ カブスカウト (CS) 隊 「団キャンプ」

CS 隊は、10 月 15 日～16 日に福崎町にある「七種の滝キャンプ場」で開催された団キャンプに参加しました。最寄りの JR 駅からかキャンプ場までの 5 ㎞の山道を徒歩で移動。キャンプでは、くまスカウトはボーイ隊のスカウトから教わりながら炊飯を担当。しか・うさぎスカウトは 60 人分のちゃんこ鍋を作りました。また、キャンプファイヤーのスタンプ（寸劇）はとても面白く、大いに皆を楽しませました。

2 日目は、ロープワークの訓練や自分たちで作った釣り竿で魚釣りを楽しみました。



♪キャンプだホイ！ キャンプだホイ・・・

○ ボーイスカウト (BS) 隊 「団キャンプ」

BS 隊は 10 月 15 日～16 日に開催された団キャンプに参加しました。

今回の団キャンプでは、BS 隊は、

- ・キャンプの盛り上げ役に徹すること。
- ・自分たちも楽しむこと。
- ・規律や礼儀を重んじ活動にメリハリをつけること

を意識して参加しました。

BS 隊の作った夕食は、5 羽の丸鳥の煮込みと炊き込みご飯の料理でとても豪華でおいしく、参加者の皆に喜んで頂きました。



豪華！まる鳥乗っけライス・・・早く食べたい・・・

また、二日目の優秀班をかけた「A 型テント撤収競争」では、保護者の見守られながら各班のチームワークを披露するよい機会となりました。

○ ベンチャースカウト (VS) 隊 「奉仕活動」

東播磨地域ビジョン委員会主催の「座禅とむかし遊び」が 10 月 9 日（日）播磨町良仙寺で開催され、VS 隊の三輪麟太郎君が奉仕参加しました。

当日は小学生などの子供たちが 11 名と保護者およびスタッフなど大人を合わせて 31 名の参加がありました。子供たちはザリガニ釣りを楽しんだあと、エコ草履づくりに挑戦、片足分しかできませんでしたが布の端切れで作った草履に満足そうでした。

昼食はイノシシ肉のカレーを頂き、午後は座禅を行いました。

制服を着て参加した三輪君は各行事の合間にゲームを行い、参加者から大変喜ばれました。

これらスカウト活動の詳細は、当団のホームページ (HP) 「ボーイスカウト加古川第 2 団」(検索) でご覧いただけます。

また、ボーイスカウト活動に関心のある方・入隊を希望される方は、団 HP のメールでアクセス頂くか **団本部 鶴林寺宝生院 電話 079-422-6064**

へお問い合わせ下さい。

